

吉田 稔 筆

平成30年4月 No.125

● 編集・発行

柏市増尾地域ふるさと協議会  
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033

柏市増尾三丁目1番1号

増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

# 誰もが主役の地域活動

## 地区懇談会

地区社協部は、平成30年2月18日(日)、増尾近隣センターにおいて、「地域活動の担い手の確保と世代交代」をテーマに地区懇談会を開催し、当ふる協委員やPTA関係者など27名が参加しました。

地域活動を維持発展させるためには、適宜に適任者への世代交代が必要であり、日頃から世代間交流を深めることが大切です。そこで、活発な地域コミュニティーづくりを推進している習志野市秋津コミュニティ顧問の岸雄司さんに、ボランティアの世代交代や人選、若い世代の巻き込み、40～50代と60～70代の参加などについて講演をしていただきました。

秋津コミュニティは、秋津小学校区約3千世帯で形成するボランティア団体で、小学校のコミュニティールームにおいて、文化やスポーツのサークル活動を中心に防災訓練や美化活動、バザーなど多岐にわたる事業をしています。役員や委員は、PTAが人材確保の母体となっていることで自動的に人が循環し、組織が活性化すること。子どもとともに現役保護者に参加してもらい、

「順番だからできる時にね」というスタンスで輪を広げる。40～50代に参画してもらうには「モスパ」(モノづくり・スポーツ・パソコン)など得意分野で活躍してもらう。60～70代には「地域の祖父母」として見守りや支援をお願いし、生涯学習の場として活用してもらう。サークルをどんどん増やし、リーダーは全員運営委員として参加する。など、多くのヒントが得られ、今後の取り組みの参考になりました。

当ふる協では、多世代交流コミュニティー「サロンつちのこ」と「サロンますのこ」、これから活動開始の高齢者のつどいの場「コミュニティーのこのこ」に、大勢のボランティアが協力し、活動しています。ボランティアとして参加して、世代をこえて交流を持ち、自らが楽しむことが地域活動の活性化につながります。

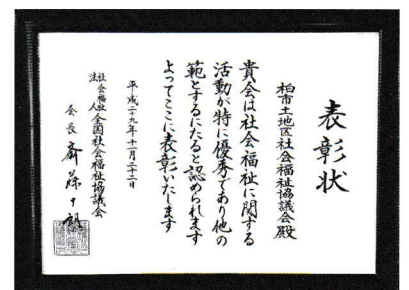
PTAや青少年健全育成推進協議会、青少年相談員などと連携を図りながら、地域でサークル活動をしている方々のふる協活動への参加などを募っていきます。

地区社協部 大島 金蔵

## 全国社会福祉協議会会長賞を受賞

増尾地域ふるさと協議会では、地域の子どもたちを地域で見守り育て、地域の全世代が交流を図る場所を作りたいという思いから、平成26年度土小学校を拠点に多世代交流コミュニティー「サロンつちのこ」、平成28年度増尾西小学校に「サロンますのこ」を発足させました。現在は多くのボランティアに加盟いただき、活発に活動をしています。

この功績が認められ、平成29年11月に全国社会福祉協議会会長賞を受賞しました。地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。



## 参加者が最多の45名 新春囲碁将棋大会

平成30年2月4日(日)、増尾近隣センターにおいて文化体育部主催「新春囲碁将棋大会」を開催しました。中学生、高校生を含む参加者は囲碁24名、将棋16名。囲碁将棋に興味を持ち参加した小学生5名は、真剣な面持ちで指導を受けていました。



開催以来最多の参加者に  
ウム！なかなか手ごわい  
より熱戦が繰り広げられました。結果は次の通りです。

### <将棋の部>

優勝 脇坂 匠 2位 松長 喜久郎 3位 多加谷 潔

### <囲碁Aの部>

優勝 湯本 康博 2位 小野 耀平 3位 町田 哲

### <囲碁Bの部>

優勝 中島 忠男 2位 蔦野 俊之 3位 佐柳 一志  
文化体育部 小林 みつえ

## 増尾ガーデニングが創立26周年

「緑のボランティア 増尾ガーデニング」は増尾近隣センター敷地内の美化活動をしている団体です。玄関の花の植え替えや手入れ、緑のカーテン作り、敷地内の草取りや落葉かきなどを行っています。メンバーは現在、80代2名を含む11名です。世の中と同じく高齢化と会員減が進んでいますが、月2回の定例作業（第1・3月曜日の午後1時30分から）を、全員で元気に楽しくやっています。

この4月には、26年目をスタートしました。このように長い間続けてこられたのは「やれる時にやれる事を無理をしないでやる」「何でも楽しくやる」ことを徹底してきたからでしょうか。さらに、ふる協からの花苗や肥料の助成金、近隣センターからの道具の提供など、周りの理解と協力が継続の大きな力となっています。

作業を終えた後はいつも茶話会を催します。そこではおしゃべりと笑いの花が咲きます。また四季折々にお花見や地域散策、カレーパーティー、忘年会なども開催しています。

時に思うのが「25年前によくこのような団体を立ち上

げたなあ」「センター利用者の有志が集まり、四半世紀か」ということ。感心するばかりです。また先達の思いを次の世代につなげていくことも私たちの役割かもしれないと感じています。

新しい仲間を募集しています。いつでもお気軽に声をかけてください。問い合わせ、申し込みは事務局保田(Tel 7172-2985)または近隣センターへ。

増尾ガーデニング 保田 行弘



見て！みて！ミテ！笑顔の花も咲きました

## つくってあそぼ 傘袋がロケットに！

平成29年12月3日(日)、増尾近隣センター体育室で開催した地区社協部主催「つくってあそぼPart5」には、土小、増尾西小、中原小などの子どもたち36名が参加しました。

最初は、傘を入れる長いビニール袋に思い思いの絵を描き、空気を吹き入れてロケットに変身させました。傘袋ロケットが出来上がると試してみたくなり、穴があいてしまいあわてる子が続出。作り直しに大わらわ。

次にソーセージとウィンナーに果物ナイフで切り込みを入れて作ったのは、チーズの立派なひげとゴマのかわいい目をしたサンタクロース、大きな4つの車輪の車とウィンナー星人、ウィンナーとブロッコリーでツリーも作り、これらは昼食のカレーライスに添えました。

そして最後に、待ちに待った「傘袋ロケット飛ばし大会」へ。色とりどりの傘袋ロケットで飛距離を競い合いました。作って遊ぶって楽しいね。

地区社協部 風間 理恵



一番遠くに飛んだのは！

# あたたかい拍手鳴りやまず 芸能発表大会

日中は、用意したストーブが不要になるほどの暖かさとなった平成30年3月4日(日)、増尾近隣センター体育室で芸能発表大会を開催。音響の不調がありましたが、

そんな中でも全41組の出演者は、日頃の練習の成果を発揮しました。観客席から「良かったよ」の声に、出演者は舞台から手を振り応えました。



舞台狭しとダイナミックな踊り。沖縄現代舞踊



トリオで詩吟



ふあの人もこの人も・・・



チロルハットで意気もピッタリ



お島千太郎を熱唱

## 年末夜間パトロールを実施

恒例の「年末夜間パトロール」を、防犯協会増尾支部と増尾ふる協の共催で、平成29年12月17日(日)午後6時より実施。増尾地域を3ブロック、8ルートに分けてのパトロールです。参加者は、町・自治会、防犯協会、柏市防災安全課、柏警察署、総勢147名でした。

増尾近隣センター、増尾駅西口、新柏駅東口の各集合場所で柏警察署、柏市防災安全課職員から地域内の犯罪状況やパトロールの注意点の説明を受け、グループに分かれて巡回しました。今回は、柏警察署から署長はじめ15名の署員による支援もありました。

29年は3自治会が都合により不参加のため、前回より参加者は22名減少しました。このパトロールは近隣町・自治会の交流の意味からも今後も続けていきたいと思えます。ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

防犯協会増尾支部・防犯防災部 高林 幹雄

## ふる協からのお知らせ

平成30年度総会を下記のとおりで開催します。なお、出席者には追って詳細をお届けします。

日時 平成30年5月13日(日) 午後1時30分より  
場所 増尾近隣センター体育室

### ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。

# カシニワ・フェスタ2018

## 増尾地域のマップを制作中

柏市内では、5月16日(水)から20日(日)まで「カシニワ・フェスタ2018」が開催されます。

カシニワは、土地を有効に使い柏のまちをひとつの大きなガーデンにとの意味があります。

増尾地域にも多くのカシニワがあります。社会福祉法人ぶるーむ「ぶるーむの森」(地図A)、増尾の里山を守る会(地図B)、柏市コミュニティ植物医師の会5-I班(地図C)、柏ふる里つくり隊「きつね山」(地図D)、柏森遊会(地図E)、サス・ティナ実験広場(地図F)、増尾地域ふるさと協議会「ペレニアル花倶楽部」(地図G)の7つの団体は、今年2月に「増尾カシニワの会」を発足。カシニワ・フェスタ公開に向けてPRの方法として、地図の配布を決めました。今、マップを制作中です。

他にもNPO法人手賀沼森友会(地図H)、イタリアン割烹茶寮 洛山(地図I)、名戸ヶ谷・森の会(地図J)があります。

会場を巡り、独創性あふれるカシニワの花と緑を楽しんでください。(下記の地図に、場所を記載しましたので参考にしてください)

増尾地域ふるさと協議会 小林 みつえ

# 増尾の坂

運転免許証を返納してから、歩くことが多くなり、坂道がこたえるようになりました。増尾は、大津川支流の谷戸の起伏の多い土地です。古くからこの地域にお住まいの高齢の方々と話をするうち、坂に名前の付いていることに気づきました。

調べてみると、坂の名称は、隣接している家の屋号や地形、地名から付けられていることが多く、タテノノサガ(増尾台1・加賀3丁目貸倉庫「カメラア増尾」横)、

バンバノサガ(増尾2丁目増尾ふるさと会館前交差点近く)、シロベイサガ(バス停向根近く「ガレージA&I」側裏通称増尾古道)、オワシノサガ(きつね山裏～ニッカウキスキー柏工場方面)、キチベイサガ(ニッカ通り吉田菖蒲園前)、ナカデエノサガ(増尾5・6丁目「平技研サービス」自転車店前)、ミヤサガ(きつね山裏～廣幡八幡宮方面)、アカサガ(芝浦工大柏中学高等学校入口交差点付近)の8件の名が分かりました。「サガ」とは方言で坂のことです。増尾には、サガ(増尾4丁目幸谷第二公園前)とだけ呼ばれる所がありました。ここがなぜ「サガ」と呼ばれているかは不明です。

また、これらの坂道は、新道ができる以前は幹線道路であり、主要な生活道路でした。荷馬車や大八車での通行は大変だったことでしょう。

増尾町会 市岡 實

